



西ノ島町コミュニティ図書館

いかあ屋通信 vol.9



昨年の開館以来、皆様には大変お世話になりました。本年も変わりませずよろしくお引き立てくださいますようお願いいたします。

西ノ島きらきら☆フォトコンテスト

昨年11月に開催した「西ノ島きらきら☆フォトコンテスト」の結果をお知らせします。全部で7点の応募があり、11月3日・4日に来館された方に投票していただきました。

☆グランプリ

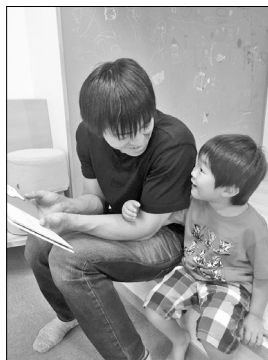
「貴重な親子時間」小川 沙紀さん（浦郷）

☆準グランプリ

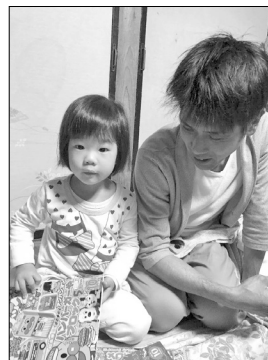
「おっちゃんと一緒に」近藤 美香さん（美田）

どの作品にも本と触れ合う子どもたちの姿がみられ、投票する方は「どれもいいね」と選ぶのが大変そうでした。

これからも本に関わるイベントを開催しますので、ご協力をお願いいたします。



☆グランプリ作品



☆準グランプリ作品

いかあやQ & A

Q. 読みたい本がないんだけど、どうしたらいい？

A. いかあ屋にない本は、新しく購入したり、他の図書館から借りたりすることができます。「題名が分かっている本」、「こんな内容の本」など、リクエスト用紙も用意してありますので、ご自由にお書きください。ただし、出版状況等の理由でリクエストにお応えできかねることもありますので、ご了承ください。詳しくはカウンターまたはお電話にてお問い合わせください。

「いかあ屋」のホームページが公開されました。

コミュニティ図書館からのお知らせ、蔵書検索、施設利用予約等がご利用いただけます。下記のアドレスをのぞいてみてください。

西ノ島町コミュニティ図書館～みんなの家 <https://nishinoshimalib.jp/>

【お問い合わせ先】

西ノ島町コミュニティ図書館 〒684-0211 島根県隠岐郡西ノ島町浦郷 67-8
TEL：2-2422 FAX：2-2423 MAIL：ikaya@nishinoshimalib.jp



みた保育園へ

絵本を寄贈していただきました。



波止にお住まいの升本 富雄様より、みた保育園に絵本が78冊届きました。

絵本が大好きな子どもたちは、どれを読もうかと楽しみにしていますので、大切に読ませさせていただきます。

ありがとうございました。

みた保育園



海藻専門家の一口メモ

岡部株式会社応用藻類学研究所 林さん
株式会社ノア隠岐 山谷さん

今回は「ユナ」を紹介します。図鑑では紅藻類のイギス目、フジマツモ科、ヤナギノリ属に分類されている海藻です。全国各地に広く生育し、隠岐島では「ソゾ」として親しまれています（写真：株式会社ノア隠岐提供）。

しかし、ミツデソゾの仲間の海藻（イギス目、フジマツモ科、ソゾ属）をソゾ類とするのが一般的で、隠岐島沿岸に広く分布するこの海藻の仲間は、国内に20種類以上、隠岐にも数種類が生育しています。紛らわしい呼び名で、これらは食用になりません。抗菌成分を含む海藻で、「植物病原菌」や「アクネ菌（ニキビの原因菌）」の抗菌効果があるとされています。

「ユナ」は「岩海苔」や「ハバノリ」と共に冬季の旬の楽しみの一つになっています。生えている場所も岩場の潮が引く潮間帯で、風いだ日に摘み取り作業を行います。

独特の強い風味は味噌汁に入れると磯の香りがし、この季節にしか味わえない旬の味覚です。伝統食の一つと言えるでしょう。

隠岐島以外の島根県内や山口県の山陰海岸、京都府の日本海沿岸、鹿児島県などの一部に食習慣があり、湯通しして酢の物にしたり、煮物にされています。乾燥保存や塩蔵ができないので製品流通はしていません。

名前の語源は定かではありませんが、山口県萩市の方言や湯菜（湯に通して食べる野菜）などと言われています。

これから迎える正月が食べ頃ですが、「ユナ」には「ベンテンモ」と呼ばれる海藻（紅藻）が寄生（着生）していることがあります。神奈川県江ノ島の弁財天が名前の由来だそうで、何だかご利益がありそうですね。皆さんも探してみてください。筆者も隠岐で写真の鮮やかな黄色い塊を見つけています。紅藻の仲間ですが黄色いのが不思議ですね。



▲ユナ



▲中央の塊がベンテンモ
（鮮やかな黄色です）

まさる 亀澤 優 さん(浦郷)の所有馬「ユウタロウ号」が 優良農用馬賞(多産馬部門)を受賞しました。

11月19日(月)、北海道札幌市にて「平成30年度優良農用馬賞(多産馬部門)」の表彰式典が行われ、浦郷の亀澤 優さんの所有馬であるユウタロウ号(雌)が同賞を受賞しました。

この表彰は、多くの農用馬を生産し、農用馬資源の確保に功績のあった馬を表彰することにより、飼養管理技術の研鑽と優良繁殖雌馬の長期利用を推奨し、他の生産者の模範となって生産に励んでいただくことを目的として、公益社団法人日本馬事協会が今年度より新たに実施しているものです。

ユウタロウ号については、平成12年に産まれ、平成15年の初産以来、現在まで延べ16頭を生産し、そのすべてが種馬登録を受け、受胎率、事故率等において極めて優秀であるという繁殖実績、所有者の適切な飼養管理が認められ、今回の受賞に至りました。

(公社)日本馬事協会では、この多産馬部門賞の他に、優良農用馬生産者等の表彰を平成10年度から実施していますが、本町内の飼養管理馬に係る受賞は過去になく、初の快挙となりました。

今後、益々のご活躍をお祈り申し上げるとともに、本町の畜産業の振興、発展を願っています。



※後列左：亀澤 優さん

写真：公益社団法人日本馬事協会